

令和3年度事業計画

公益財団法人川崎市文化財団

川崎市文化財団の事業運営の基本方針

- (1) 市民の文化芸術活動を振興し、川崎市における文化芸術の創造を促進するため、多様なジャンルの各種の文化芸術事業を実施します。
- (2) 文化芸術施設の管理運営を通して、市民の自発的かつ創造的な文化芸術活動の場を提供し、文化芸術の創造と発信、文化芸術活動の支援と協働を推進します。
- (3) 夢や希望を与え、人のつながりを生む文化芸術活動を通じて、市民が生き生きと心豊かに暮らせるまちづくりを推進する川崎市の方針を実現する中核的な組織としての自覚を持って、財団全体の組織力を結集し、経営感覚に富んだ効率的な事業運営を行います。

I 財団本部事業

1 文化事業

(1) 文化振興事業

ア 文化情報事業

市民文化活動の活性化を図り、生き生きとした市民文化を育てていくための様々な文化活動情報の提供を行います。

(ア) 文化情報誌「かわさきアートニュース」の発行

文化財団が実施する各種事業に携わる文化人、文化団体のインタビュー記事や、市内の各種文化事業をお知らせする情報誌を毎月発行します。

(イ) ウェブサイトの運営

文化財団が実施する各種事業情報及び管理する施設情報をインターネットで発信し、広く文化活動の活性化を図ります。

(2) 芸術文化育成事業

市民に優れた文化芸術公演を鑑賞する機会を提供するとともに、芸術文化を普及するための美術展、演劇の創作発表を支援します。

ア 芸能サロン (1月)

川崎能楽堂において、市民に優れた文化芸術公演を鑑賞する機会を提供します。

イ かわさき市民アンデパンダン展 (6月下旬～7月上旬)

芸術文化を普及するため、無審査方式のかわさき市民アンデパンダン展を開催します。

ウ かわさき演劇まつり (演劇講座) (7月)

子どももおとなも楽しめる演劇を鑑賞する機会を市民に提供し、川崎市における演劇文化の振興・普及を支援します。

かわさき演劇まつり実行委員会を中心として、川崎市内を拠点とする演劇集団や市民とともに「ガンバと15ひきの仲間」を企画・上演します。

エ 川崎郷土・市民劇

川崎の歴史上の人物や川崎の発展に寄与した人物をテーマに、市民が制作した演劇作品を市民とともに上演し、演劇文化の向上と、街づくりに寄与します。

令和4年度の第8回公演の実施に向け、川崎郷土・市民劇上演実行委員を中心として企画・制作を行い、出演者募集、シンポジウム、広報活動等を実施します。

また、第9回以降の公演実施に向け、題材及び運営体制の検討をします。

(3) 歴史文化事業

地域の歩みや移り変わりを伝える歴史的・文化的資源等を市民に紹介し、ふるさと意識の醸成と市民文化の振興を図る事業を行います。

ア 歴史ガイドパンフレット等の市民への提供

イ 歴史ガイドパネルの管理 既設パネル数 146基

ウ 歴史ガイドパンフレット等を活用した学習会の実施

(4) 古典芸能普及事業

川崎能楽堂において、日本の代表的な古典芸能である能楽の普及に努めます。

ア 夏休み能楽体験・鑑賞教室の開催

次代の市民文化活動の担い手となる小・中学生を主な対象として、能楽の講座、仕舞、つづみ、太鼓、笛等の実技体験と、わかりやすい解説を加えた能楽鑑賞など3日間にわたる入門講座を開催します。(7月下旬～8月上旬)

イ 能楽教室の開催

能楽師が謡曲、仕舞、能囃子の笛、小鼓などの実技指導を行う能楽教室を週2回開催します。

(5) パラアート推進事業

障害の有無に関わらず、共に文化芸術に積極的に取り組む機運の醸成及び障害等のあるアーティストの人材育成に寄与することを目的に次の事業を行います。

ア 展示プログラム

障害の有無に関わらず、作品の魅力を伝える展示会を開催します。

制作にあたっては、市内特別支援学校及び障害者福祉施設等に幅広く参加を呼びかけ、開催期間中に来場者の理解を深めるためのワークショップ等を開催します。(11月頃に連続10日間程度)

イ ネットワークプログラム

パラアート関係者が抱える課題を解決するための研修、関係者同士の交流やコラボレーションを促進するためのネットワーク会議等を開催します。(年2回程度)

ウ 公募・連携プログラム

(ア) 一般公募プログラム

障害のある人もない人も共に文化芸術活動に取り組むためのモデルとなる事業を発掘し、事業の成果を先行事例として広く発信することを目的に、企画を一般から募集します。(公募4～5月、審査6月、事業実施6月～2月、事業報告会3月)

(イ) 連携プログラム

本事業の趣旨に沿った他の実施主体の取組(例：作品展、コンサート、文化施設を活用した普及事業等)との連携について調整し、広報や関連企画の実施等により連携します。(4月から2月の間)

エ インターネットでの情報発信

-市内のパラアート関連情報を収集・発信するウェブページ「ぱらあーとねっと」において、インターネット展覧会の開催、コンテンツ拡充や利用者拡大のための広報、ウェブアクセシビリティの向上等を図ります。

オ 相談窓口の開設、中間支援機能の調査・研究

パラアートに関する相談をネットワーク会議やウェブページ「ぱらあーとねっと」等で受け付け、可能な限り対応していきます。また、日本芸術文化振興会が主宰する「アーツカウンシル・ネットワーク」に参加し、中間支援機能の強化につながる調査・研究を行います。

2 芸術文化事業

(1) 公演事業

日本の代表的な古典芸能である能楽の普及に務めます。

ア 川崎能楽堂定期公演

喜多流、観世流鍬仙会、観世流の各流派による能・狂言の定期公演を3回、狂言の定期公演を1回開催します。

新しい生活様式に対応して、動画を撮影し、ウェブ配信を検討しています。

イ 能楽普及公演

川崎・しんゆり芸術祭において、能・狂言の公演を開催します。

(2) 美術展等開催事業

市民の創造的な文化活動を支援するための発表の場を提供し、地域の歴史文化に触れる機会を提供する展示事業を共同で開催します。

ア アートガーデンかわさき企画展の開催

川崎区誌研究会及び市立図書館との共同企画展 (1月)

イ アートガーデンかわさき共同開催企画展

市民の創造的な文化活動の発表の場を提供し、身近な人々の作品を鑑賞することで文化活動の裾野を広げる事業を市内文化団体等との共同で開催します。

(ア) 「川崎美術協会展」 (10月)

(イ) 「川崎区文化協会美術展」 (11月)

(ウ) 「川崎市立高等学校合同芸術祭」 (1月)

(エ) 「かわさき市民芸術祭」 (2月)

ウ アートガーデンかわさき特別展示室事業 (川崎浮世絵ギャラリー)

アートガーデンかわさき特別展示室 (川崎浮世絵ギャラリー) において、希少性が高く、国内外での豊富な展示実績があり、高い評価を受けている浮世絵作品を展示することにより、良質な文化芸術作品の鑑賞機会の提供、地域にゆかりのある作品を通じた愛着と誇りの醸成、新たな賑わいの創出を図ります。

(ア) 幕末明治の奇才・河鍋暁斎展 4月10日(土)～5月9日(日)

(イ) 川瀬巴水と新版画 5月15日(土)～6月6日(日)

(ウ) 広重～六十余州名所図会 6月12日(土)～7月4日(日)

(エ) 世界の犬北斎展【前期】 7月10日(土)～8月9日(祝)

- | | | |
|-----|---------------|---------------------|
| (オ) | 世界の北斎展【後期】 | 8月14日(土)～9月12日(日) |
| (カ) | 国芳没後160周年【前期】 | 9月18日(土)～10月17日(日) |
| (キ) | 国芳没後160周年【後期】 | 10月23日(土)～11月21日(日) |
| (ク) | 江戸の華 大忠臣蔵 | 11月27日(土)～12月22日(水) |

※ 令和4年1月以降は現在未定

3 文化施設運営事業

(1) 川崎能楽堂管理運営事業

市民団体等が能楽を中心とした芸術文化活動を鑑賞、学習、発表する場として川崎能楽堂を提供します。

(2) アートガーデンかわさき管理運営事業

市民団体等が各種美術作品等を発表し、市民等が鑑賞するギャラリーとしての利用に供します。また、未利用日に貸会議室として利用に供することを検討しています。

(3) 新百合トウェンティワンホール管理運営事業

ア 新百合トウェンティワンホール地下2階にある多目的ホール、会議室、研修室等を市民団体等の創造的な文化活動を支援する場、文化芸術を発信する場及び絵画展、写真展等のギャラリーとしての利用に供します。

イ 新百合トウェンティワンホールにおいて、市民に優れた文化芸術に接する機会を提供します。

(ア) アルテリッカ演芸座(5月:川崎・しんゆり芸術祭2021への参加公演)

(イ) こども狂言教室(12月～3月)

(ウ) アルテリッカ新ゆり美術展(3月:アルテリッカ新ゆり美術展実行委員会との合同主催)

(4) ラゾーナ川崎プラザソル管理運営事業

ラゾーナ川崎プラザ5階の多目的ホールを管理運営し、演劇団体等の創造的事業の発表の場として、また、市民が演劇やコンサートなどの舞台芸術に触れる場として提供します。

ア 多目的ホールの機能を最大限に生かし、文化活動、商業活動等様々なニーズに的確に対応する管理運営を行います。

イ 文化芸術の発信事業として、「ラゾーナ寄席」を毎月1回開催します。

4 共催事業

(1) 第46回川崎大師薪能(5月)

川崎の初夏の風物詩として、市民の方々に長年にわたり親しまれてきた川崎大師薪能を川崎大師平間寺(特設舞台)において実行委員会と共同で開催します。

(2) かわさきジャズ2021(11月)

国内外で活躍するアーティストによる公演をはじめ、市内音楽大学と連携した人材育成プログラムや市内各所でのフリーライブ、地元企業とのタイアップ企画等ジャズを軸とした総合フェスティバルを実行委員会と共同で開催します。

(開催予定会場)

ミューザ川崎シンフォニーホール / ラゾーナ川崎プラザソル /
新百合トウェンティワンホール / 昭和音楽大学 / 洗足学園音楽大学/
川崎市スポーツ・文化総合センター(カルッツかわさき) / CLUB CITTA /
川崎市アートセンター 他、市内各所

5 文化芸術活動の開催支援事業

川崎市の事業として、適切な感染防止対策を行い、「新しい生活様式」に対応した公演等を実施する団体に対して、会場費を補助する事業を行います。

Ⅱ ミューザ川崎シンフォニーホール事業 (指定管理者事業)

ミューザ川崎シンフォニーホールの指定管理者である「川崎市文化財団グループ」は、当財団、㈱シグマコミュニケーションズ及びサントリーパブリシティサービス㈱の3者で構成するもので、当財団はグループの代表者として事業を実施します。

今年度は、第4期指定管理期間の2年目として、最高の音楽芸術活動の場であり聴衆と演奏家にとって魅力のあるホールであること、芸術文化活動を通して地域に貢献し、「音楽のまち・かわさき」のシンボルとして「音楽ですべての人がつながるまち～共生社会の実現～」を目指すべく、クラシック音楽を中心に幅広いラインナップにて芸術創造・発信を行い、音楽を通して市民生活の豊かさを提供し、市民と共にミューザ川崎シンフォニーホールをつくり、充実した公演事業を展開していきます。

また、文化芸術振興費補助金により全国のトップレベルの劇場・音楽堂16館にのみ与えられる助成金「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」について、令和3年度は採択されて4年目を迎え、引き続き、わが国の文化のけん引役として芸術創造・普及啓発・人材育成の各事業を総合的に進めてまいります。

1 音楽文化振興事業

- (1) 「フェスタサマーミューザ KAWASAKI 2021」をはじめとする、ミューザ川崎シンフォニーホール企画コンサート等の開催

ミューザ川崎シンフォニーホールの指定管理者として、フランチャイズ・オーケストラである東京交響楽団との共同企画によるホール看板事業の「名曲全集」、クラシック音楽のすそ野を広げることを目的としたホールシンボル事業の「フェスタサマーミューザ KAWASAKI」、そして多彩なジャンルの公演を開催し、ホールファンの拡大を目的としたホール魅力アップ事業の「ランチタイムコンサート」「スペシャル・ナイトコンサート」等、クラシック音楽を中心とした日本を代表するコンサートホールとしての事業展開を図ります。

※予定事業 別紙1のとおり

- (2) 普及啓発（教育プログラム）事業の展開

「こどもフェスタ」や「音の放課後プロジェクト」など、子どもたちが楽しみながら音楽に触れる機会を提供し、また、「ミューザの日」など、地域のホールとして親しみが持てるプログラムを展開することにより、子どもたちの感性豊かな心の成長と次代への音楽文化継承を進めてまいります。

- (3) アウトリーチ事業の実施

川崎市内外各地にて「音楽のまち・かわさき」を推進すべく、「出張サマーミューザ@しんゆり」や「ポップリ♪コンサート」など、アウトリーチ公演を実施します。

(4) 人材育成事業の展開

若手演奏家育成事業やインターンシップ制度、アートマネジメントセミナーなどの展開により、音楽家や制作者の育成を進めてまいります。

(5) インクルーシブな環境づくり

オリンピック・パラリンピック東京 2020 大会やその後の地域社会づくりに向けて川崎市が進める「かわさきパラムーブメント」と連携して、バリアフリー対策や障害者に対する理解促進など、誰もが文化芸術に親しめるホールを目指して環境づくりを推進します。

2 受託施設管理運営事業

・ ミューザ川崎シンフォニーホールの運営

日本を代表するコンサートホールとして、また、市民に開かれた交流の場としてホールの機能を最大限に発揮するように、併せて、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、安心・安全にご利用いただけるように、施設の適切な管理・運営を行います。

令和3年度 ミューザ川崎シンフォニーホール主催・共催公演

【音楽ホール】

◆良質で魅力ある公演

○MUZAランチタイムコンサート (各回12:10開演)

●サクソ&ピアノ	4月20日(火)	●前半(4~9月)公演 全席指定 500円 ●後半(10月~3月)公演 未定
●パイプオルガン&ソプラノ	5月25日(火)	
●ジャズ(トロンボーン&バンジョー&ピアノ)	6月15日(火)	
●東京交響楽団 弦楽四重奏	7月13日(火)	
●ヴァイオリン&ハーブ	8月24日(火)	
●オルガン連弾	9月10日(金)	
●ジャズ(ピアノ・ヴォーカル&ベース&ドラムス)	10月7日(木)	
●パイプオルガン&ソプラノ	11月18日(木)	
●ピアノ&ヴァイオリン&ヴィオラ&チェロ	12月13日(月)	
●東京交響楽団 ホルン	2022年 1月19日(水)	
●グラスハーブ&ギター	2022年 2月15日(火)	
●パイプオルガン&トランペット	2022年 3月15日(火)	

○MUZAスペシャル・ナイトコンサート (各回19:00開演)

●SLIDE MONSTERS	9月6日(月)	全席指定 4,000円 U25 1,500円
●国府弘子スペシャルトリオ&弦楽カルテット	2022年 3月16日(水)	未定

○MUZA MUSIC BAR (各回19:00開演/会場:ホール2階ホワイエ)

●ジャズ(トロンボーン&バンジョー&ピアノ)	6月15日(火)	全席自由 3,000円 ペア割 5,000円
●ジャズ(ピアノ・ヴォーカル&ベース&ドラムス)	10月7日(木)	

○オルガン・コンサート

●デイヴィッド・ティッターリントン パイプオルガン・リサイタル	10月2日(土) 開演時間 :調整中	全席指定 3,500円 U25 1,000円
●MUZAパイプオルガン クリスマス・コンサート2021	12月25日(土) 14:00開演	全席指定 4,000円 U25 1,500円

◆音楽文化を創造する斬新な企画

○「フェスタサマーミュージックKAWASAKI 2021」

◆フェスタ サマーミュージック KAWASAKI 2021 ◆こどもフェスタ2021夏	7/22(木・祝) ~8/9(月・振休)	全20公演
--	-------------------------	-------

◆フランチャイズオーケストラと質の高い協働

○ミュージザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集 (ホール・東響共催公演)

●第166回 指揮:アレッシェンドロ・ボナート/ピアノ:牛田智大 ベッリーニ:歌劇「ノルマ」序曲(シンフォニア)、 ショパン:ピアノ協奏曲第2番へ短調 op.21、チャイコフスキー:交響曲第4番へ短調 op.36	4月10日(土) 14:00開演	
●第167回 指揮:ジョナサン・ノット/ピアノ:ピエール=ロラン・エマール 武満徹:鳥は星形の庭に降りる、バルトーク:ピアノ協奏曲第1番 Sz.83 ブラームス:交響曲 第2番 二長調 op.73	5月15日(土) 14:00開演	
●第168回 指揮&ヴァイオリン:佐藤俊介 ジャン=フェリ・ルベル:「四大元素」から 第1楽章 カオス ハイドン:交響曲 第7番 ハ長調 Hob. I :7「昼」、ヴィヴァルディ:協奏曲集「四季」	6月20日(日) 14:00開演	
●第169回 指揮:原田慶太楼/ソプラノ:小林沙羅/バリトン:大西宇宙/合唱:調整中 ヴォーン・ウィリアムズ:グリーンズリーヴスによる幻想曲 ヴォーン・ウィリアムズ(ジェイコブ編):イギリス民謡組曲 ヴォーン・ウィリアムズ:海の交響曲	9月18日(土) 14:00開演	
●第170回 指揮:ジョナサン・ノット/ソプラノ:カタリーナ・コンラディ、 アルト:ウィーブケ・レームケール、テノール:マーティン・ミッタールツナー バスバリトン: ニール・デイヴィス、合唱:調整中 デュティユー:交響曲 第1番、モーツァルト:レクイエム K.626	10月24日(日) 14:00開演	1回券 S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円
●第171回 指揮:クシシュトフ・ウルバンスキ/ピアノ:児玉麻里 モーツァルト:歌劇「魔笛」序曲、ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 Op.19 ブラームス:交響曲 第4番 ホ短調 op.98	11月6日(土) 14:00開演	第167回・第170回・第172回は、 S 7,000円 A 6,000円 B 4,000円 C 3,000円
●第172回 指揮:秋山和慶 ソプラノ:安井陽子/メゾソプラノ:清水華澄/テノール:宮里直樹/バリトン:加未徹 合唱:調整中 ワーグナー:楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲 ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調 op.125「合唱付」	12月18日(土) 14:00開演	
●第173回 指揮:ピエール・アリュース /チェロ:ユリア・ハーゲン/オルガン:大木麻理 サン=サーンス:チェロ協奏曲 第1番 イ短調 op.33 サン=サーンス:交響曲 第3番 ハ短調 op.78「オルガン付き」	2022年 1月22日(土) 14:00開演	
●第174回 指揮:大友直人/ピアノ:清水和音 ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18 ルーセル:バレエ音楽「バッカスとアリアーヌ」第2組曲 op.43 ストラヴィンスキー:組曲「火の鳥」(1919年版)	2022年 2月12日(土) 14:00開演	
●第175回 指揮:飯森範親 /ソプラノ:梅津碧 モーツァルト:歌劇「魔笛」序曲、 夜の女王のARIA「復讐の炎は地獄のようにわが心に燃え」 オッフェンバック:喜歌劇「天国と地獄」序曲 オッフェンバック:歌劇「ホフマン物語」よりオランピアのARIA「生垣に鳥たちが」 バーンスタイン:キャンディード序曲、クネゴンデのARIA「着飾って、きらびやかに」 マーラー:交響曲 第1番 二長調「巨人」	2022年 3月27日(日) 14:00開演	

○モーツァルト・マチネ(全4回)

●第45回 指揮:太田弦/ヴァイオリン:山根一仁/管弦楽:東京交響楽団 〈オール・モーツァルト・プログラム〉 交響曲 第32番ト長調 K. 318 ヴァイオリン協奏曲 第3番ト長調 K. 216 交響曲 第36番 ハ長調 K. 425「リンツ」	5月1日(土) 11:00開演	全席指定 4,000円 U25 1,500円
●第46回 指揮:鈴木優人/ソリスト:調整中/管弦楽:東京交響楽団 〈オール・モーツァルト・プログラム〉 歌劇「フィガロの結婚」序曲 K. 492 交響曲 第35番 二長調 K.385「ハフナー」 他	8月22日(日) 11:00開演	
●第47回 指揮:ジョナサン・ノット/ヴァイオリン:グレブ・ニキティン/ヴィオラ:西村真紀 管弦楽:東京交響楽団 モーツァルト:ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 変ホ長調 K.364(320d) 他	12月11日(土) 11:00開演	
●第48回 指揮:井上道義/グラスハーブ:大橋エリ/管弦楽:東京交響楽団 〈オール・モーツァルト・プログラム〉 交響曲 第25番ト短調 K. 183(173dB) グラスハーモニカのためのアダージョとロンド ハ短調 K. 617 交響曲 第29番 イ長調 K. 201(186a)	2022年 3月6日(日) 11:00開演	

◆市民の誇りとなる公演

○海外オーケストラ公演

●ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 指揮:キリル・ペトレンコ シューベルト:交響曲第8番ハ短調「ザ・グレート」 他	11月16日(火) 開演時間:調整中 調整中	
●ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団 指揮:トゥガン・ソヒエフ/ピアノ:ラルス・フォークト ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」 ベルリオーズ:幻想交響曲 op.14 他	11月20日(土) 開演時間:調整中 調整中	

○スペシャル・コンサート

①ホールアドバイザー企画公演

●ホールアドバイザー秋山和慶企画 「オーケストラで楽しむ映画音楽Ⅶ」 指揮:秋山和慶/管弦楽:東京交響楽団/ナビゲーター:中井美穂 歌:岡幸二郎、吉岡小鼓音/ピアノ:奥田弦 「ニュー・シネマ・パラダイス」サウンド・オブ・ミュージック「王様と私」南太平洋 「ファンタジア」〜デュカス:交響詩「魔法使いの弟子」 他	4月3日(土) 15:00開演	S:7,000円 A:6,000円 B:5,000円 C:4,000円 U25 各席半額
●ホールアドバイザー松居直美企画	2022年 2月19日(土) 14:00開演	全席指定 3,500円 U25 1,500円
●ホールアドバイザー小川典子企画 「超絶技巧のロシアン・ピアノ」 ピアノ:イリヤ・ラシュコフスキー/ピアノ:小川典子 ストラヴィンスキー:バレエ音楽「春の祭典」 ラフマニノフ:交響的舞曲ほか	2022年 2月26日(土) 14:00開演	全席指定 4,000円 U25 1,500円

②共催事業公演

●ウィーン少年合唱団	6月6日(日) 14:00開演	当初予定していたが、新型コロナウイルス感染症による入国規制により、出演者来日が難しい状況になったため、中止
●アジア音楽祭2022 in KAWASAKI 日本作曲家協議会60周年コンサート	2022年 3月31日(木) 開演時間: 調整中	調整中

③その他の公演

●かわさきジャズ2021	11月13日(土)	調整中
●MUZAジルベスターコンサート2021	12月31日(金)	調整中
●第8回 被災地復興支援チャリティ・コンサート	2022年 3月11日(金)	調整中

◆市民の晴れ舞台としての発表の場

●ミュージア川崎 市民合唱祭 2021	7月3日(土) 4日(日)	調整中
●ミュージア川崎 市民交響楽祭 2021	8月29日(日)	調整中
●ミュージア川崎 市民吹奏楽祭 2021	10月3日(日)	調整中
●プラチナ音楽祭 2021 <共催>	9月4日(土)	全席自由 無料
●交流の響き in かわさき 2021 <共催>	9月25日(土)	全席自由 無料

◆市内の音楽大学や音楽団体との連携

○音楽大学オーケストラ・フェスティバル (ミュージア川崎シンフォニーホール/東京芸術劇場共同企画)

●第12回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル (桐朋学園大学、東邦音楽大学)	11月23日 (火・祝)	1,000円
●第12回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル (国立音楽大学、洗足学園音楽大学)	12月4日(土)	
●第11回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ	2022年 3月26日(土)	S:2,000円 A:1,500円

◆市文化施設・企業・商業施設や教育との連携、パラムーブメントの推進

○「ミュージアの日2021」

<p>●ミュージアの日 7月1日はホールの開館記念日、そして川崎市の市制記念日。その2つの記念日をミュージア川崎シンフォニーホールでは「ミュージアの日」として、フランチャイズ・オーケストラ東京交響楽団のオーケストラ公演を中心に、音楽工房内の各種イベントなど、「音楽のまち・かわさき」らしい楽しい日をミュージアが演出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール公演(ウェルカムコンサート) ・音楽工房を利用したの無料イベント ・ミュージアビル全館で行う企業や近隣の商業施設等の提供による様々なイベント など 	7月1日(木)	ウェルカムコンサート 大人:2,000円 シニア:1,500円(65歳以上) 子ども:500円(4歳~中学生)
---	---------	--

◆その他

○「こどもフェスタ 2021春」

●こどもフェスタ おはなしオルガン、パイプオルガンミニコンサート&照明ショー、オルガン探偵団	5月5日(水・祝)	無料
---	-----------	----

【音楽ホール以外】

◆音楽工房を活用した事業

●MUZA ミュージックカレッジ(市民交流室) 午後のひと時、トークを楽しみながら、さまざまな角度で音楽の楽しみ方をご紹介しますコンサート。	未定	未定
●わたしもほくもオルガニスト(短期コース・長期コース)	回数未定	未定

◆文化施設・企業・商業施設や教育との連携

●ミュージアの日(前掲)	7月1日(木)	
●ジュニア・プロデューサー(ミュージアの日関連企画)	4月18日(日) ~7月1日(木) 計8回	参加無料 7月1日有料公演は料金未定
●リトルミュージア(こどもフェスタ動画プロジェクト)	4月~5月	

◆パラムーブメントの推進・オリパラ関連事業

●ポプリトコンサート	会場調整中	無料
●オリパラ歓迎ソング	7月1日(木)	「ミュージアの日」の中で

◆その他公演

●ジェイミーのコンサート(市民交流室) <共催> ホールアドバイザー小川典子氏が主催する、自閉症児・障がい児の家族を応援するコンサート。	日程未定	オンライン開催
●ミュージア川崎レクチャーコンサート(市民交流室) <共催> ホールアドバイザー秋山和慶氏が提唱する、美しい日本語を大切にしたい日本歌曲のコンサート。	10月17日(日)	全席自由 3,000円

◆オンラインを活用した事業

●「こどもフェスタ2021春」 家族で「音のワークショップ」	5月4日(火・祝)	無料
-----------------------------------	-----------	----

◆人材育成事業

●若手音楽家育成事業	7-8月	
●ミュージア・ソリスト・オーディション(パイプオルガン)	2022年 3月7日(月)	
●インターンシップ(大学等との連携)	随時	
●セミナー&ディスカッション	随時	
●音楽大学オーケストラ・フェスティバル(前掲)	11-12月、3月	
●学校教育との連携事業	調整中	
●ミュージア・ワークショップ・インターン	随時	

◆アウトリーチ事業

●東京交響楽団 特別演奏会 ドイツ“三大B”名曲コンサート 指揮:大友直人/ヴァイオリン:松田理奈/管弦楽:東京交響楽団 会場:テアトロ・ジューリオ・シヨワ プログラム:ハイドンの主題による変奏曲 Op.56a ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番 短調 Op.26 ベートーヴェン:交響曲第7番 長調 Op.92	5月5日 (水・振休) 15:00開演	S:5,500円 A:4,500円 B:3,500円 U25:2,000円
●フェスタサマーミュージアKAWASAKI 2021 出張サマーミュージア@しんゆり(前掲)	前掲	
●ポプリトコンサート(前掲)	会場調整中	無料
●東響ミニコンサート in MUZAガレリア ミュージアビル内において、オフィス棟に勤める人や店舗利用者に向けて、ホールとフランチャイズオーケストラをPRする機会として、東響メンバーによるミニコンサートを開催。	全6回	無料

《参考》

◆東京交響楽団 川崎定期演奏会(貸館公演)

<p>●第80回 指揮:ベルトラン・ド・ビリー／ハープ:グザヴィエ・ドゥ・メストレ 藤倉 大:海、エルガー:エニグマ変奏曲 作品36 ライネッケ:ハープ協奏曲 ホ短調 op.18 ブルックナー:交響曲第7番 ホ長調</p>	<p>6月27日(日) 14:00開演</p>	<p>S 8,000円 A 6,000円 B 4,000円 C 3,000円</p>
<p>●第81回 指揮:ジョナサン・ノット／チェロ:伊藤文嗣／ヴィオラ:青木篤子 R.シュトラウス:交響詩「ドン・キホーテ」op.35 シベリウス:交響曲 第5番 変ホ長調 op.82</p>	<p>7月18日(日) 14:00開演</p>	<p>S 9,000円 A 7,000円 B 5,000円 C 4,000円 P 3,000円</p>
<p>●第82回 指揮:ユベール・スダーン／メソソプラノ:アリス・ケート フランク:交響詩「プシュケ」より第4曲「プシュケとエロス」 ショーン:愛と海の詩、ベルリオーズ:幻想交響曲 op.14</p>	<p>9月26日(日) 14:00開演</p>	<p>S 8,000円 A 6,000円 B 4,000円 C 3,000円 P 2,500円</p>
<p>●第83回 指揮:クシユトフ・ウルバンスキ／ヴァイオリン:キム・ボムソリ ソプラノ:アリーナ・ヴンダーリン／カウンターテナー:彌勒忠史 バリトン:ピョルン・ピュルガー／コーラス:調整中／児童合唱:東京少年少女合唱隊 シマノフスキ:ヴァイオリン協奏曲 第1番 op.35 オルフ:カルミナ・ブラーナ</p>	<p>11月14日(日) 14:00開演</p>	<p>S 9,000円 A 7,000円 B 5,000円 C 4,000円</p>
<p>●第84回 指揮:ジョナサン・ノット／ピアノ:ニコラ・アンゲリッシュ ブラームス:ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.83 ルトスワフスキ:管弦楽のための協奏曲</p>	<p>12月5日(日) 14:00開演</p>	<p>S 9,000円 A 7,000円 B 5,000円 C 4,000円 P 3,000円</p>

Ⅲ 川崎市アートセンター事業 (指定管理者事業)

川崎市文化財団は、平成 29 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの 5 年間、昭和音楽大学グループ（代表者 学校法人東成学園 構成員 株式会社プレルーディオ）及び学校法人神奈川映像学園（日本映画大学）との共同構成による「川崎市文化財団グループ」として第 3 期指定管理を担い、協働して川崎市アートセンターの事業運営と施設管理運営を行っています。

アートセンターは、地域の芸術・文化活動の創造発信及び交流の活動拠点として、日々多様な芸術文化活動の展開と鑑賞機会の提供に努め、芸術のまちづくりに寄与しているところです。

令和 3 年度におきましても、2 期 10 年の指定管理業務をはじめとするこれまでの実績を踏まえながら、指定管理第 3 期 5 年目の活動の方向性を見据え、より効果的・効率的な事業運営と施設管理運営に努めてまいります。

1 芸術文化事業

(1) 舞台芸術等文化振興事業（アルテリオ小劇場）

アルテリオ小劇場は、舞台芸術の発信（創る）、担い手の育成（育てる）、観賞機会の提供（楽しむ）を基に事業を展開しています。客席の傾斜があり見やすく、音が反響しないのでセリフが聞き取りやすい、市内でも数少ない演劇公演に適した劇場空間であり、その特質を活かした、演劇やミュージカル、さらには気軽に楽しめる落語やジャズコンサートなど幅広いジャンルの舞台芸術、ワークショップや市民劇団の活動など多彩な事業を展開しています。さらに平成 30 年度からアウトリーチ活動を開始しました。社会的包摂という考えを踏まえ、市民にとって良質で魅力的な舞台芸術との出会いの場を劇場内外でも提供できるよう努めてまいります。（別紙 1）

ア しんゆりシアター

アルテリオ小劇場では、自ら企画・制作する公演事業を「しんゆりシアター」と名付け、地域の創造発信拠点となる地域劇場（リージョナルシアター）をめざし、事業を展開しています。

また、様々な舞台芸術作品の創造発信をとおして、人々の生きていく様や地域社会の基本的な価値観を表現していくとともに、子どもたちや高齢者、演劇を担う人材の発掘・育成に努め、地域の文化・芸術資源を活用しながら質の高い事業を展開しています。

公演は、年間 1 作品でプロの俳優及びスタッフを招き上演する（ミュージカル、演劇を交互に上演）プロデュース公演、さらに、市民劇団・劇団わが町公

演を中心に展開しています。劇団わが町は、9～80歳の地域住民49名で活動を継続してまいります。劇団公演のスタッフ・キャストとしての活動に加え、しんゆりアウトリーチへの活動にもサポートメンバーとして参加しています。

イ 通年事業

市北部の定例寄席として親しまれている「しんゆり寄席」は市内在住の初音家左橋、桂米多朗両師匠を世話役に、毎年6月から翌年3月まで計10回、多彩なゲストを迎え、古典芸能の魅力をお届けしています。

「しんゆりジャズスクエア」は幅広いジャズ愛好家の定着を図っており、地元タウン誌を発行するエリアブレインが企画に参加している他、年1回は昭和音楽大学とのコラボレーション企画として講師陣と卒業生による共演公演を行っています。

いずれの事業においても、お客様のお迎え・案内など公演当日の運営業には、ボランティアスタッフが参加しており、今後も継続してまいります。

ウ その他

平成30年度から立ち上げた映像館とのコラボレーション企画では、劇場機構を存分に活用し、光と影を活用した映画と舞台をつなぐ企画やワークショップを展開しています。

また、夏休みには特別企画としてワークショップと作品上演からなる障がい者アーティストの企画を行います。

さらに、地域住民が参加できる事業として、夏休みワークショップを開催しており、ミュージカル体験やことばのワークショップを令和3年度も予定しています。併せて、平成30年度からは川崎市アートセンターを飛び出し、「しんゆりアウトリーチ」と題し、アウトリーチ活動を始動させており、コミュニケーション、演劇体験等のワークショップも開催しています。

(2) 映画・映像文化振興事業（アルテリオ映像館）

映像館では、シネマコンプレックスとの違いをアピールし、映像のまちに相応しいミニシアターとして、日本を含む、世界各地で作られた芸術性の高い作品や多様な文化的背景を持つ作品を選定、上映するなど、質の高い映像芸術プログラムによる事業を展開します。

また、視覚障がい者向け副音声ガイド付き上映や保育付き上映などのバリアフリー上映、スタッフやキャストのトークショーなども行い、多様な鑑賞機会の提供に努め、誰もが映画を楽しめる環境づくりを行います。

さらには、子ども向けや社会人向けのワークショップなどの文化創造講座を開催します。

また、日本映画大学との共催による上映会、「アルテリッカしんゆり 2021」の一環としての企画上映、「KAWASAKI しんゆり映画祭」との共催など地域や映像教育機関との共催・連携事業に取り組んでいきます。(別紙2)

ア 映画上映事業

映像館では、今後も月曜日の休映日等を除くほぼ毎日、新作・名作を中心に上映します。夏休みには、主として子どもを対象にした日本映画をフィルムで鑑賞する「映画タイムマシン」を開催します。また、不定期に中学生・高校生を対象にしたシネマリテラシー講座の「放課後シアター」を開催します。

さらに、副音声ガイド付き上映、保育付き上映などバリアフリー上映を定期的に行い、幅広い方々が映画を鑑賞できる機会を提供し、アートセンターから多くの良質な映画・映像プログラムを発信します。

イ 文化創造事業

上映作品などに関連した監督を始めとしたスタッフやキャスト、評論家等をゲストに招いて、作品解説などのトークや講座を開催します。

子ども向けワークショップは、小学生を対象に夏休みと春休みにアニメーションやピンホールカメラ、映画制作、映画音楽制作、無声映画活弁などのワークショップを開催します。

また、社会人向けに撮影や編集の基本的な技術を習得するための「3 分間ビデオ制作入門講座」(全 10 回)を秋から開催します。

ウ 広報・宣伝事業

「アルテリオ・シネマニュース」の年 12 回の発行(各回約 2 万 5 千部)やホームページ、メールマガジンを活用した広報活動に努めるとともに、独自に企画した特集上映ではチラシ、ポスター、鑑賞の手引等を作成し情報提供と広報・宣伝に努めます。

また、映画鑑賞サービスの一環として、会員価格等に特典のある「アルテリオ・シネマ会員」の会員数の充実に努めます。

2 特定事業(別紙3)

(1) 「KAWASAKI しんゆり映画祭」

映画祭事務局と連絡を密に取り、ガイダンスやボランティア研修を共同で企画するなど、よりよい運営を行っていきます。また、日本映画大学との連携・協力を一層深め、「アルテリッカしんゆり 2021」での映画上映を始め、上映企画ワークショップ優秀企画上映会や卒業論文パネル展示会などを共催していきます。

(2) 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2021

「川崎・しんゆり芸術祭」は、例年 5 月のゴールデンウィークを中心に開催される、川崎北部の総合芸術祭です。

アートセンターは、文化芸術機関や関係団体等で組織された主催者である実行委員会の一員として事務局業務や各種調整業務等を担い、芸術祭全体の公演の事業計画の立案、予算決算及び広報、アートボランティアとの連絡調整・研修等を行うとともに、公演の準備から公演当日の運営など、芸術祭を全般的に担当します。

(3) アート講座等

「アルテリッカしんゆり」をより深く理解し楽しめるよう、出演予定の演者や一流講師による芸術の魅力を学ぶゼミナールとして、秋から冬にかけて開催します。

年 7 回～10 回開催するアート講座を企画し、ボランティアの方々が講座の運営、進行等を担い、アートマネジメントに必要なノウハウを習得することにより、地域の芸術を支えるアートボランティアの発掘と人材育成を行います。

併せて、関連事業として「オペラ・スクオーラ」を開催し、地域に向けたオペラ振興を図ってまいります。

令和3年度川崎市アートセンター事業計画案(アルテリオ小劇場)

別紙1

年月	事業分類	分野	アーティスト	公演名	概要
2021年4月	鑑賞事業	演劇	演出:ジャッキー・E・チャン 出演:『あのね』孕石きよ・松田紀子・望月寛子、『マ・プニユンカ』歌子、ぴんたろう、『まる』大沢愛、戸前優子	日本児童・青少年演劇劇団協同組合「ベイビーミニシアターフェスティバル」	川崎・しんゆり芸術祭 2021ラインアップとして上演。海外でも注目を集めるベイビーシアターは赤ちゃんが主役であり、観客でもある舞台です。全身の感覚で受け止める年齢、2歳未満の赤ちゃんを対象としています。また、リラックス公演として障がいのある子ども、配慮が必要な子どもと保護者を対象とした公演を予定しています。
2021年5月	鑑賞事業	演劇	作:近松門左衛門 脚色:吉田清治 演出・脚色(潤色):ふじたあさや 出演:人形劇団クラルテ	人形劇団クラルテ「女殺油地獄」	川崎・しんゆり芸術祭 2021ラインアップとして上演。劇団創立71周年の迎え、近松が描こうとした「人」「人の情」を見つめなおし、現代人形劇で再創造する。令和元年度(第74回)文化庁芸術祭演劇部門(関西参加公演)において大賞を受賞した注目作品です。
2021年5月	鑑賞事業	演劇	原作:火野葦平「河童曼荼羅」(国書刊行会) 脚本・演出:立山ひろみ 出演:デフ・パペットシアター・ひとみ	デフ・パペットシアター・ひとみ「河の童ーかわのわっばー」	川崎・しんゆり芸術祭 2021ラインアップとして上演。火野葦平が書き溜めた34編の河童の物語「河童曼荼羅」をベースに河童と人間の物語を通して、真に共に生きる世界を問う作品です。ろう者と聴者の感性を活かした新しい人形劇へのチャレンジです。アフタートーク、バックステージツアーなども企画しています。※対象は4歳以上
2021年6月～2022年3月	鑑賞事業連携事業	演芸	初音家左橋 桂米多朗 毎月ゲストあり	「しんゆり寄席」 年10回	川崎南部・プラザソルの「ラゾーナ寄席」、北部の「しんゆり寄席」と南北同時に平成24年度にスタートした月一回の定番企画。抽選会、交流会(不定期)も開催します。
2021年6月～2022年3月	鑑賞事業連携事業	コンサート	田辺充邦(G)、佐瀬正(B)、右近茂(T-SAX)などを中心にプログラム	「しんゆりジャズスクエア」 年5回	平成24年度よりスタートした年5回のジャズコンサート。地元・昭和音楽大学とのコラボレーション企画なども取り入れて、プログラムの幅を広げています。11月公演はかわさきジャズの連携企画とする。地元タウン誌を発行するエリアブレインと音楽制作会社プレルーディオを共に実施。
2021年7-8月	創造発信交流事業	ワークショップ	講師:ふじたあさや、河田園子 ほか	夏休みワークショップフェスティバル2021	劇場空間を使い、幅広い年齢層が参加できるワークショップを開催。ミュージカルWSとことばWSを開催予定。演劇体験だけでなく相互理解や助け合いの心を育む時間を提供します。
2021年10月	鑑賞事業	演劇	作:ふじたあさや 演出:河田園子 音楽:西村勝行	しんゆりシアター「大きな古時計」(仮題)	ミュージカルとストレートプレイを隔年で上演するしんゆりシアターの企画。童謡「大きな古時計」誕生秘話にアイディアを得て、家族の歴史や絆、物に宿る魂を大切に思う心を丁寧に描きます。幅広い年代で楽しんでもらえる作品を目指します。

2021年12月 ほか	創造発信 交流事業	演劇	作・演出:ふじたあさや	しんゆりシアター劇団 わが町 「とんでもない大晦日」 (仮題)	平成24年度からスタートした市民劇団・劇団わが町公演。ディケンズ作「クリスマスキャロル」を近代日本に設定を変え、翻案上演。「人を愛し自分が変わることによって世界は変わる」という普遍的なテーマを掘り下げる。出演のみならず、スタッフワークを含めた活動は舞台芸術に多面的に触れることにより深化した活動を目指します。
2021年度(時 期未定)	鑑賞事業 創造発信 交流事業	鑑賞 + WS	現在調整中	小劇場×映像館コ ラボレーション企画 vol.3	劇場空間を活用し短編映画上演、幻燈などの鑑賞、体験により、より立体的に理解を深める機会を提供します。令和3年度は子どもたちと一緒に映画の仕組みを学び、上映を楽しむ企画を進行中。
通年	創造発信 交流事業	アウトリ ーチ	company ma 劇団わが町	しんゆりアウトリーチ	劇場に足を運ばない方々のもとに、体験型アウトリーチ・ワークショップを開催。ワークショップで国内外での実績のあるcompany maと劇団わが町のメンバーが出かけていく。
2022年3月	創造発信 交流事業 連携事業	演劇	川崎市高等学校演劇 研究会との共催	高校演劇フェスティ バル	麻生区のみならず、川崎市内の舞台芸術の発表の場として日頃の成果を地域の方々に披露、芸術のまちづくりに寄与したいと考えます。
2021年11月	特定 事業	映画	KAWASAKIアーツ との共催	しんゆり映画祭	令和3年度27回目を迎えるしんゆり映画祭は市民ボランティアによって運営。アートセンターをメイン会場として使用。特定事業として運営協力を行う。
<p>通年 地域の劇団、カンパニー、大学・高校の演劇部などと連携し、「しんゆり・芸術のまち」の拠点として相応しい事業を進めていく。アルテリオ小劇場の広報宣伝活動に努め、貸館利用を促進させる。</p>					

事業名	実施時期	企画名	概要
映画上映事業 (コミュニティシネマ)	①新作上映	通年	ロードショー公開や新作・秀作上映(月10~12本程度)
	②名画上映	通年	国内外の優れた旧作映画の上映
	③副音声ガイド付き上映	通年	バリアフリーシアター
	④保育付き上映	通年	バリアフリーシアター
	⑤フレンドリー上映	不定期	バリアフリーシアター
	⑥映画タイムマシン	夏休み	日本映画の鑑賞とワークショップ
	⑦放課後シアター	通年	
	⑧企画・特集上映	7~8月	平和のためのロードショー
	⑨上映支援・コミュニティ上映	通年	
	⑩団体鑑賞	通年	各種団体による鑑賞
	⑪コミュニティシネマセンターとの協働	不定期	シネマテーク・プロジェクト選定作品
文化創造事業	①ゲストトーク・講座・イベント	通年	映画に関連した講座やトーク
	②子ども向けワークショップ	夏休み 春休み	アニメーション、ピンホールカメラ、映画制作、映画音楽制作、無声映画活弁
	③映画・映像制作	秋~冬(10回程度)	ビデオ制作入門講座
	④副音声ガイド制作	年5~6作品	映画の副音声ガイド制作
共催・連携事業	①KAWASAKIしんゆり映画祭	秋	第27回KAWASAKIしんゆり映画祭開催
	②川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)	4月末~5月初旬	川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2021
	③日本映画大学	4月末~5月初旬	
	④映像のまち・かわさき	通年	
事業賞	映画に関する企画展示		ロビーやコラボレーションスペースを活用し、映画史や上映作品に連動した企画展示を行う。
事業制作	撮影・制作支援	通年	撮影・制作支援
職員	会員の拡大	通年	会員システムの告知とサービスの充実により会員を拡大
広報・宣伝	シネマ・ニュースの発行、パブリシティ展開、ウェブの活用	通年	アルテリオ・シネマニュース(月刊)の発行 新聞・地域メディア・専門誌などでの情報発信 ホームページやウェブでの情報発信
			アルテリオ・シネマニュース: 上映作品紹介、イベント情報などを掲載し、毎月制作発行 地域情報誌や専門誌などへの広報の充実 ホームページやメールマガジンの充実

令和3年度 川崎市アートセンター 特定事業等計画案

別紙3

年月	事業分類	分野	アーティスト等	公演名	概要
令和3年10月 ～11月	特定事業	映画	KAWASAKIアーツ との共催	しんゆり映画祭	27回目を迎えるしんゆり映画祭は市民ボランティアによって運営。アートセンターをメイン会場として使用。
令和3年4～ 5月	特定事業	総合芸術	芸術の各分野で活躍するアーティスト、著名人	川崎・しんゆり芸術祭 2021	2009年度に開始し、令和3年度は13年目を迎える。麻生区のほか、多摩区、宮前区に拡大し、入場者が毎年2万人を超える川崎北部の芸術祭として定着してきました。アートセンターは、実行委員会の庶務機能・調整機能を担当。
令和3年10月 ～ 令和4年3月	特定事業	講義	講師：舞台芸術の幅広いジャンルの著名人	川崎・しんゆり芸術祭 発 アート講座VOL. 13	講師に文化芸術分野の著名人を迎え、幅広いジャンルの舞台芸術や映像の世界をより深く理解し、「芸術によるまちづくり」の一助となる講座を開講、アルテリッカしんゆりのボランティア養成につなげていく。
令和4年2月 ～3月	関連事業	講義	講師：オペラ界で活躍するアーティスト、著名人	川崎・しんゆり芸術祭 発アート講座第2弾 オペラ・スクオーラⅧ	「オペラを知り、オペラを好きになり、そしてオペラが楽しくなる」をコンセプトに、オペラ界で活躍するアーティスト、著名人の講義により、オペラを楽しむための知識と教養を深め、質の高い観客育成を目指す。

IV 東海道かわさき宿交流館事業 (指定管理者事業)

「川崎市文化財団・川崎市観光協会グループ」(公益財団法人川崎市文化財団及び一般社団法人川崎市観光協会)は、『東海道かわさき宿交流館』の指定管理者(第2期平成30年4月1日～令和5年3月31日)となり4年目を迎えました。令和3年3月末には開館して7年半となり、来館者数は延べ34万人(令和3年1月末現在)を超えています。令和3年度も交流館の管理運営事業、交流館を活用した市民文化の振興事業等によって、市民等の文化振興と文化芸術活動を活かしたまちづくりの一翼を担うとともに、引き続き新型コロナウイルス感染症等の拡大防止対策を確実に実施してまいります。

1 常設展示事業

『交流館』は、江戸時代の東海道川崎宿に関する情報を発信し、多くの方に市域の歴史・文化に触れる機会を提供することを目的として設置されました。

入館料無料であることもあって、繰り返し気軽に立ち寄っていただける施設です。

当グループは、交流館の特徴を十分認識し、次のことに留意し市民の交流拠点として親しまれる施設となるよう運用してまいります。

- ・ 来館者が交流館において快適で充実した時間を過ごし、満足度を高めてお帰りいただけるよう、おもてなしの気持ちで来館者をお迎えします。
- ・ 地域をよく知るNPO法人かわさき歴史ガイド協会の協力を得て、来館者が楽しく観覧できるよう展示の趣旨・見どころや地域情報等を案内します。
- ・ 国内の観光客はもとより、延期により今年度の開催となった東京オリンピック・パラリンピックにより、増加が見込まれる外国人観光者に対しても、川崎の魅力を積極的に伝えます。

2 企画展示事業

3階展示室では、常設展示とともに地域の多様な歴史・文化を発信する交流館に相応しい内容の企画展を定期的開催します。また、市民にとって親近感のある市内で活動している作家、美術サークルなどの作品展については、昨年度新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となったことから、改めて今年度開催します。

また、令和2年度に作成した「佐藤惣之助～川崎宿で生まれ育った天才詩人・作詞家～ビデオ」と(仮称)「川崎宿の歴史を学ぶビデオ」を活用して企画展示事業の充実を図ります。

1階エントランスと休憩コーナーは、まち歩きのための休息の場所となっていることから、壁面や大型テレビを利用して川崎宿に関する地域情報等を来館者へ提供します。

(1) 定例企画展示

佐藤惣之助と関連した企画展や川崎市「観光写真コンクール入賞作品」展、及び川崎ミニガイド「こんなところ、こんな話」等の企画展示を行います。

(2) 特別企画展示

関係機関と連携して谷川健一生誕100周年、坂本九生誕80周年及び市内外で活躍している作家の作品展等の特別企画展を実施します。

3 文化イベント事業

地域文化の振興と地域交流の推進を図るために、交流館を活用した各種文化イベントを開催します。

(1) 江戸時代の粋に遊ぶシリーズ

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会の協力により、江戸時代から繋がる芸能文化をわかりやすく紹介することをテーマとして、公演鑑賞に加えて、演者とナビゲーターとの対談、演者と観客の質疑応答や観客が芸のさわりを体験するコーナーを設けるなど、楽しく学べて体験できる内容で開催しています。

また、延期となった東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、訪日外国人の方々が楽しむことのできる事業を企画します。

(有料事業 入場料1,500円 全4回 4月、8月、11月、1月を予定)

(2) 街道シリーズ講演会

「宿場・街道」をテーマとして歴史研究家、専門学芸員、郷土史など各方面の著名な方々による講演会を開催します。(入場無料 全4回 5月、7月、11月、3月を予定)

(3) 前座・二つ目 お昼の落語

市民に人気のある交流館の名物企画となっており、前座・二つ目の落語家が出演します。市民が気軽に集い交流できる場として、また、若手の落語家の研鑽する場として開催します。(入場無料 全4回 5月、9月、12月、3月を予定)

(4) 講談 de 交流

人気の高い前座・二つ目の講釈師が出演します。地域住民が気軽に集い交流できる場として、また、若手の講釈師の研鑽の場として開催します。

(入場無料 全4回 4月、7月、11月、2月を予定)

※「お昼の落語」「講談 de 交流」の公演は入場希望者が多いため、現在、往復はがきで応募いただき、応募者多数の場合は抽選を行っています。

(5) こども向け体験教室

こどもを対象に夏休み期間中に、親子で楽しみながら川崎の歴史や文化をやさしく学べる教室を開催します。(全2回 8月、3月を予定)

(6) 川崎歴史講座

川崎の歴史や文化を多角的に学び後世に伝えるための講座や座談会を NPO 法人かわさき市民アカデミーや NPO 法人かわさき歴史ガイド協会などの協力を得て開催し、市民へ川崎の歴史を学ぶ場を提供します。(回数未定)

(7) 東海道かわさき宿寄席～アマチュア名人会～

市民落語愛好家との連携によるアマチュア落語寄席を開催します。
(入場無料 全3回 6月、10月、2月を予定)

(8) 文化活動団体による各種イベント

佐藤惣之助の命日の前後に行われる「酔花忌」は、交流館の共催事業として実施します。また、文化協会等の市民活動団体が実施するイベントの広報活動等への支援協力を行います。

(9) 他施設との連携イベント

川崎駅周辺で公益財団法人川崎市文化財団が管理運営するミュージアム川崎シンフォニーホール、ラゾーナ川崎プラザソル、アートガーデンかわさき、川崎浮世絵ギャラリーがあります。それらの施設と連携した取組や案内を行うことにより集客力を高めます。また、川崎市市民ミュージアムや関係機関等と連携した展示会を企画します。

(10) その他

小編成の楽器等により共に音楽を楽しむコンサートや文化イベント等を開催します。

4 施設利用事業

(1) 集会室等の利用促進

交流館4階の第1・2集会室(117㎡)及び談話室(15㎡)は、地域活動や市民交流等の多様な用途に利用できる有料の貸出施設です。

これらの施設については、市民活動団体の活動の場として、また、地域交流を推進する場として活用いただくとともに、ニーズに沿った利用ができるよう利用方法の改善に努めます。

また、利用方法や料金を表示した案内リーフレットを作成し、より多くの

方に利用いただけるよう努めます。

(2) 来館者へのおもてなし

交流館の1階は、お休み処「万年屋」や休憩コーナー等、まち歩きの人や地域の方が気軽に立ち寄り交流できるスペースとなっています。「万年屋」では大型ディスプレイを配置し川崎宿のガイドビデオを上映しています。また、休憩コーナーでは、東海道や川崎宿などに関連した書籍を置き、自由に閲覧していただきます。さらに、壁面を利用し、市民から提供された作品や川崎宿に関連するイベント情報等の地域情報を発信しています。また、来館者に対してはホスピタリティをもった接遇に努めます。

(3) 利用者意見等の把握と改善

来館者の声を収集するアンケート用紙と投函箱を1階エレベーター前、休憩室及び3階展示会場に設置しています。また、職員等が利用者から直接要望等を受けた場合には、業務日報に記入することになっています。

これらの情報を職員間で共有することにより、来館者の意見を反映した事業実施や運営の工夫改善につなげています。

(4) 施設の保守管理

施設管理業務を委託している事業者が、設備等の保守点検や清掃・警備等を適正に実施しているか管理します。事業者とは日常的に連絡を取り合っており、施設を常に良好な状態に維持することに努め、来館者へ安全安心な環境を提供するとともに、施設の長寿命化を図ります。また、管理状況等を川崎市と情報共有し、必要な修繕等については協議し適正かつ迅速に実施します。

5 地域・学校等との連携

(1) 地域活動支援

- ・来館者案内や交流館事業に携わる市民ボランティアを育成・支援し、交流館事業を協働して実施することを通じて、地域活動の活性化を図ります。
- ・市民が交流館を積極的な活用することを通じて、市民文化の醸成を図ります。
- ・地域に親しまれる施設を目指して、地域のまつりやイベント等に積極的に参加協力します。

(2) 「東海道かわさき宿交流館運営委員会」の開催

地域住民や関係機関等からの意見要望を、交流館の運営に取り入れるために、地域住民や関係機関等を構成員とした「東海道かわさき宿交流館運営委員会」を開催します。また、提案された意見要望については、できる限り交流館の企画

運営に反映するよう努めます。

(3) 「東海道川崎宿を活かした地域活性化推進組織」との連携

地域住民を中心とする東海道川崎宿を活かした地域活性化推進組織と連携して、東海道川崎宿 2023 まつりや川崎宿ウォークラリー等の取組に協力します。

また、2023 年に迎える川崎宿 400 年記念事業準備に積極的に参画し、記念事業の企画運営に協力します。

(4) 学校等との連携

交流館を校外学習の場として活用していただけるよう近隣の学校等と連携して、次のとおり学習支援事業を実施します。

- ・市内の小学校の社会科見学受業の一環として、当館を利用していただけるよう校長会や社会科教諭会などへ交流館の利用促進活動を行います。また、小学生が利用する際には、川崎の歴史に興味を持てるよう、学校、教育委員会等の協力を得て作成した児童向けの学習ワークシートや案内映像を活用します。
- ・中学生については、川崎の歴史を学ぶ施設として、また、職場体験学習・地域フィールドワークの場としての活用を図ります。
- ・外国人留学生に、当館を利用していただけるよう地元の日本語学校などへ交流館の利用促進活動を行います。

(5) ボランティア育成と活用

地域住民が主体的に交流館事業に関わり、交流館を活用した文化振興やその他地域交流につながる活動を通じて、自らのやりがいを見出すとともに、地域の歴史と文化への理解が深まるよう、次の事業を実施します。

- ・かわさき歴史ガイド協会のボランティアガイドが来館者への案内を行います。
- ・かわさき歴史ガイド協会と協働して、川崎宿ガイドツアーを主催します。

(年 3 回)

- ・東海道川崎宿に関連する市民団体の活動やイベントを支援・応援し、人材の育成とネットワークづくりに努めます。
- ・集会室等の活用が市民の交流を深め、多様な活動が発展するよう、情報発信や連携構築等の支援を行います。

6 情報収集・発信

(1) 歴史文化資料・情報の収集・提供

- ・東海道川崎宿に関連する歴史文化に関する資料・情報等を収集・整理します。
- ・市民等が保有している川崎のまちの変遷を伝える写真や資料・情報等を収集・整理し、来館者のニーズに応える魅力的な企画展示を実現します。

(2) 交流館ホームページ

交流館ホームページを活用し、交流館展示の魅力・特徴の紹介、イベント開催情報等を逐次発信します。タイムリーな情報更新により、サイトを頻繁に閲覧するファンと交流館利用者の拡大を図ります。

また、ウェブアクセシビリティの向上を目指し、改善していきます。

(3) 外国人来館者（インバウンド）向け対応

東京オリンピック・パラリンピック開催で多くの外国人が川崎にも宿泊されると予測され、英語、中国語、韓国語のパンフレットを川崎駅周辺のホテルへ積極的に配布します。

誰もが気軽に入館できるよう、1階入口付近に英語版での施設表示を改善します。また、受付に自動翻訳機等を準備し外国人へ交流館の魅力を伝えます。

(4) その他広報等

次の広報活動を実施し、来館者の増加に努めます。

- ・交流館チラシ、ポスターを作成し配布、掲出場所を増やします。
- ・マスコミや地域のタウン誌等へのタイムリーな情報を提供します。
- ・街道をテーマとする市内外の施設と連携します。（広報資料の相互提供等）
- ・旅行企画会社等が主催する宿場巡りや街歩きのツアー等へ協力します。

7 物販事業

交流館1階のショップコーナーでは、東海道かわさき宿にふさわしいもの、展示・企画展の関連商品や図録、江戸の粋を感じるグッズ及び川崎ならではの商品等を企画販売します。

8 その他サービス

利用者からの要望があるためサービス向上の一環として、事務所内の複写機を使用して有料でのコピーサービス（自主事業）を行います。

令和3年度3階 企画展(予定)

別紙1

	期間	展示名
1	4月1日(木)～ 5月16日(日)	常設企画展 かわさきミニガイドパネル展
2	5月18(火)～ 6月27日(日)	企画展 (仮称)谷川健一 生誕100周年記念 日本地名研究所40年のあゆみ
3	6月下旬～ 8月下旬	常設企画展 かわさきミニガイドパネル展
4	9月上旬～ 10月下旬	企画展 (仮称)川崎市市民ミュージアム連携企画展
5	10月下旬～ 11月下旬	企画展 (仮称)わたしが写した川崎 観光写真コンクール入賞作品展
6	11月下旬～ 12月下旬	企画展 (仮称)坂本 九 生誕80周年記念企画展
7	1月上旬～ 3月下旬	企画展 (仮称)押絵羽子板企画展